

No. 1

しょうばら



## 脱炭素地域推進ニュース

発行日	令和6年4月19日
発行元	環境建設部環境政策課
TEL	0824-72-1398
FAX	0824-72-5517
mail	kankyo- seisaku@city.shobara.lg.jp

### 庄原市ゼロカーボンシティ宣言

このたび庄原市では、次世代を担う子ども達により良い環境を残すため、市全体で脱炭素社会の実現に向けた取組を進め、機運の醸成を図る目的で、庄原市地球温暖化対策計画の追加改定と同時に、ゼロカーボンシティ宣言を行いました。

1.宣言日：令和6（2024）年4月8日

2.宣言文：裏面の通り

詳細については、右記のQRコードをご確認ください。

([https://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/life/environment/post\\_1701.html](https://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/life/environment/post_1701.html))

庄原市ホムページ



つぎに、脱炭素社会につながる取組みの一つをご紹介します。

### 3Rの取組と分別したごみのリサイクルについて

3Rは、資源を有効的に繰り返し使う社会（＝循環型社会）を実現するための重要なキーワードです。さらに、ごみが減ると市のごみ施設で処理する量も減少するため、温室効果ガスの削減にもつながります。

皆様のご協力をお願いします。

リデュース  
**① Reduse**  
**もっと減らせるかも？**

- マイバッグを持って買い物に行く
- 食料などの買いすぎに注意する
- 使用頻度の低いものはレンタルする

リユース  
**② Reuse**  
**まだ使えるかも？**

- 不要なものは人に使ってもらう
- 詰め替え商品を利用する
- リサイクルショップを利用する

リサイクル  
**③ Recycle**  
**生まれ変わるかも？**

- 正しく分別する
- 再生して作られた商品を利用する
- 食品トレイはスーパーなどの店頭回収へ



まずはごみを減らして、繰り返し使って、最後にリサイクルするという優先順位なんですね。じゃあ、私たちが分別して出したごみは、どんな風にリサイクルされているの？

分別したごみは、資源として生まれ変わっています。  
ペットボトル → 圧縮・梱包 → 搬出 → 破碎・洗浄されてマテリアル原料に  
空き缶 → 破碎・磁力選別 → 圧縮 → スチール資源、アルミ資源に  
『混ぜればごみ、分ければ資源』引き続き分別にご協力をお願いします！！





## 庄原市ゼロカーボンシティ宣言

庄原市は、比婆の山々に囲まれた雄大な自然と、先人の知恵と努力によって築き上げられた歴史と文化をもつまちです。こうしたふるさとを次の世代に引き継ぎ、元気で住みよい地域づくりを進めていかなければなりません。

しかし、私たちを取り巻く自然環境は、人類の活動で排出される温室効果ガスの影響により、台風の巨大化や集中豪雨等の異常気象による災害が多発しており、安全で安心して暮らせる生活が脅かされています。

この課題を解決するため、日本政府は、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言するとともに、この宣言と整合的で野心的な目標として2030年度に温室効果ガスを46%削減（2013年度比）することを決定し、脱炭素化に向けたロードマップを示しました。

これまで長きにわたり受け継がれてきた本市の豊かな自然と文化を次世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが強い意志を持って自らの行動を変えるとともに、再生可能エネルギーの最大限の導入、脱炭素社会の実現に向けた地域一丸となった取り組みが不可欠です。

よって、本市は、市民・事業者の協働のもと、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、持続可能な将来のために行動することを宣言します。

令和6（2024）年4月8日

庄原市長

木山耕三